

平成14年度の気象

平成13年11月から平成14年10月までの気象経過は次の通りでした。

図のプラスの値は気温、降水量、日照時間が平年に比べ高い、多いことを、マイナスの値は低い、少ないことを表します。

《寒候期(11月～4月)》

気温は平年に比べ11月～1月中旬までは低めに推移し、特に12月上旬は5℃以上も低く、寒い日が続きました。しかし、1月下旬以降は高めに推移し、特に4月中旬は3℃以上も高く、春が早く感じられたのではないのでしょうか。

また、1月下旬、2月中旬の大雪で積雪深は平年より52cm多い101cmでした。土壌凍結深は平年並でした。

《暖候期(5月～10月)》

気温は平年に比べ5、6月上旬は高く推移しましたが6月中旬からは低く推移しました。特に7月下旬～8月下旬は毎旬2℃以上低く寒い日が続きました。

降水量は5月上旬～7月上旬までは少なく、7月中旬～8月下旬までは多く、9月中下旬、10月中旬は少なく推移しました。台風の影響で、10月上旬は126mmも多い雨が降りました。

《牧草の生育》

1番草は6月上旬までの高温のため生育ステージは早く進みましたが、寡雨のため充実した生長ができず、やや不良となりました。2番草の生育期間は雨はあったのですが気温が低く、やや不良となりました。年間でもやや不良となりました。



